

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察防除情報第8号

大豆のハスモンヨトウの防除対策について

8月に入り大豆においてハスモンヨトウの発生が増加傾向にあります。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 8月上旬の巡回調査(18筆)の結果、幼虫の寄生株率は6.3%(平成17年3.0%)であった(図1)。若齢幼虫の食害による白変葉の発生圃場率は44.4%(平成17年34.2%)であった。
- (2) 8月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、幼虫の寄生株率は6.0%(平成17年1.1%)であった。
- (3) フェロモントラップ(諫早市)の誘殺量は平成17年よりやや少なく推移しているがやや増加傾向にある(図2)。
- (4) 向こう1か月の気温は平成17年並か高く、降水量は平成17年並と予想されており本虫の発生に好適である。

2. 防除対策等

- (1) 圃場の見回りを徹底し、白変葉が散見されるようになったら早急に防除を行う。
- (2) 幼虫の齢が進むと食害量が増加するとともに薬剤の効果も劣ってくるので薬剤散布は若齢幼虫期に行う。
- (3) 薬剤散布にあたっては農薬の使用基準を遵守し、圃場周辺への飛散がないよう十分注意する。

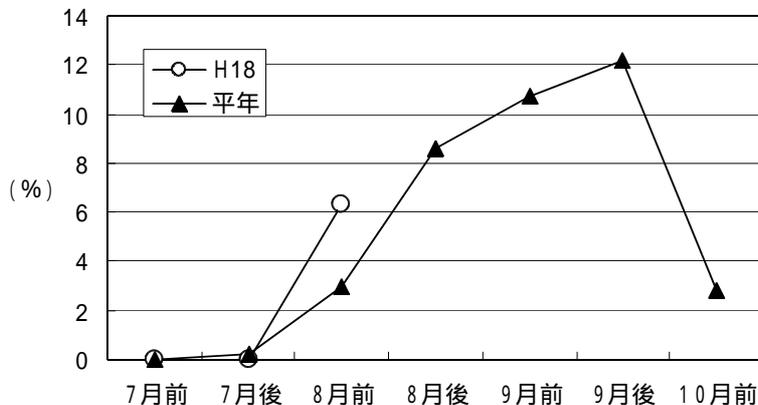


図1 ハスモンヨトウ幼虫の寄生株率の推移(巡回調査)

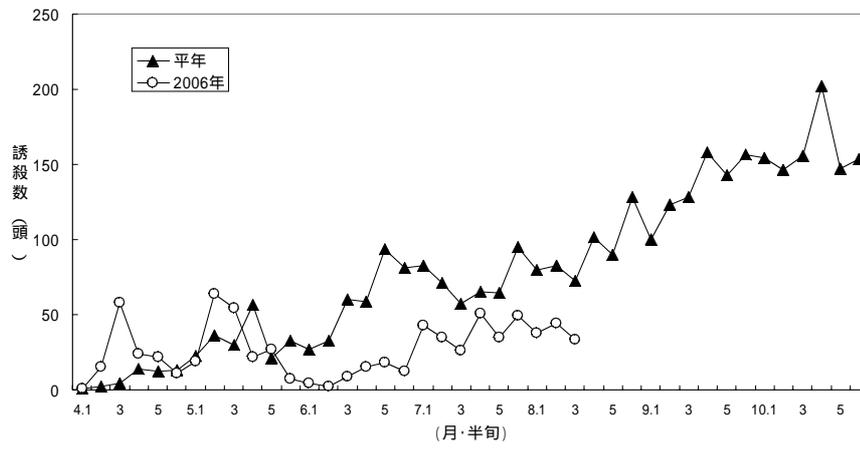


図2 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市)
 平年:H8~H17の平均値(最大・小値除く)